

トルコ 旺盛なサクランボ輸出

[RAYHABER 2024年8月8日](#)

エーゲ海地方青果物輸出協会会長でエーゲ海地方輸出協会副コーディネーターでもあるハイレットイン・ウチャク氏は、「共和国の建国100周年に当たる2023年に、我が国は2億1,500万ドルに相当し前年比60%増となる8万3千トンのサクランボの輸出を達成した。トルコはサクランボの生産と輸出の両方で明確なリーダーシップを今年も維持している。成功裏に迎えた共和国の第2世紀である2024年の1月から7月の期間には、前年同期比4%増となる2億900万ドルのサクランボ輸出を達成した。サクランボの生産量は72万5千トンで世界一であり、我が国を米国、チリ、ウズベキスタンが追っている。我が国は世界の55カ国にサクランボを輸出している」と述べた。

ウチャク氏は、サクランボの最大の購入者はヨーロッパ地域であることに言及し、「2024年の最初の7カ月のサクランボ輸出量は、ドイツ向けが25%増の1億1,400万ドルで1位に位置している。ロシア向けが2%増の4,100万ドルで2位、ポーランド向けが112%増で3位である。オランダとノルウェーへの輸出額は600万ドルである。トルコのサクランボ収穫量は年間73万6千トンである。エーゲ海地方では、イズミル、マニサ、アフィオン、デニズリ、アイドゥンの各県で年間26万トンのサクランボが生産されている。トルコのサクランボ輸出額は世界第4位である。2024年の1月から7月の期間のサクランボの輸出量は6万6千トンに達した。今年はサクランボの収穫量と品質向上を踏まえ、輸出目標を2億5千万ドルから3億ドルに引き上げた」と語った。

同氏はまた、「生鮮果実・野菜の輸出において、トルコの主要市場はロシア、ポーランド、バルカン諸国、ヨーロッパ、中東諸国であるが、それ以外のアジア・極東市場にサクランボを輸出するための接触を続けている。現在、シンガポール、香港、マレーシア、インドに輸出している。『使用農薬を知る』プロジェクトと『チチュウカイミバエのいないサクランボ生産』プロジェクトを通じて、トルコは残留農薬のない高品質のサクランボを生産し輸出するために努力している。輸出額で世界のトップ3に入ることを目指している。貿易省の展示会や貿易促進事業(Turquality及びUR-Ge)による支援を得て、輸出を増加させている。ご臨席のオメル・ボラト貿易大臣及び貿易省に感謝する。同省の支援により、輸出をさらに前進させることを決意している」と述べた。

(関連記事)トルコ 輸出業者は今年のサクランボ出荷量の増加を見込む

[FreshPlaza 2024年8月8日](#)

「今シーズンのサクランボの出荷量は10~15%多い」

トルコの青果物輸出業者ダリヤネイチャー社のゼネラルマネージャー補佐であるスパタイ・ティルマン氏は、好調なリンゴのシーズンの後、サクランボのシーズンも期待を裏切らなかつたとして、「前回のリンゴのシーズンを振り返ると本当に良いシーズンであった。現在はまだサクランボの出荷シーズン中であるが、今のところ順調に進んでいる。サクランボについては、他の農場では概して何がしかの問題があった。しかし、我々の農場は標高1,700メートルにあるため、今年のサクランボの品質は非常に高い。実は、トルコで最も遅く収穫している果樹園が弊社にある」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

「サクランボの需要はすでに旺盛であるが、弊社の収穫物の品質が高いことから、この数週間は非常に忙しい。今シーズンの出荷量が10~15%多いという事実も、大きな助けになっている。弊社のサクランボは主にスーパーマーケットや卸売業者に直接送られており、受注に対して十分な量の出荷が可能であった。」

ティルマン氏は、過去の投資の効果が出るため、来シーズンは生産量がさらに増加すると予想している。「弊社では3、4年前に投資を行った。果樹園が成園化してくるので、次のシーズンではその投資の恩恵を受けることができる。計画では、来シーズンにはサクランボの量が25~30%増える。」

同社は、ある特定の製品を扱うバイヤーを見つけることを期待して、香港のアジアフルーツロジスティカに出展する(以下省略)。

執筆者: ニック・ピーターズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)